

2018 春季チャレンジジュニア

《 開 催 要 項 》

1. 主 催 福岡県テニス協会
2. 主 管 福岡県テニス協会ジュニア委員会
3. 期 日 高校 1,2 年生 平成 30 年 6 月 2 日 (土) ~ 6 月 3 日 (日)
14 才以下男子 平成 30 年 6 月 3 日 (日)・6 月 16 日 (土)
その他の種目 平成 30 年 6 月 16 日 (土) ~ 6 月 17 日 (日)
※詳しい日程、集合時間はドロー会議で決定します。
4. 会 場 春日公園テニスコート (砂入人工芝)
春日市原町 3-1-4 TEL 092-573-4200
5. 参加資格 **福岡県テニス協会加盟団体所属及び個人登録者(2018 年)**
10 才以下 男子・女子 (2008 年 1 月 1 日以降出生者)
12 才以下 男子・女子 (2006 年 1 月 1 日以降出生者)
14 才以下 男子・女子 (2004 年 1 月 1 日以降出生者)
高校 1 年生 男子・女子
高校 2 年生 男子・女子
で、セルフジャッジが出来るもの
※2018 DUNLOP CUP 全国選抜ジュニアテニス選手権兼ワールドジュニアテニス 2018 九州地域予選 県予選大会、2018 九州ジュニアテニス選手権大会県予選において、各種目シングルスでベスト 16 に入った選手は申込み出来ません。
※高校生の部に関しては前年度の九州大会 (九州ジュニア) 出場者の参加は不可。
6. 種 目 シングルス
7. 試合方法 参加数によって決定致します。
8. 使用球 10 才以下 グリーンボール
12 才以下・14 才以下・高校生の部 ダンロップフォート
9. 参加料 2,000 円
10. 申込要領 **申込締切：平成 30 年 4 月 26 日 (木) 17:00 必着**
11. 申込方法
 - ◆郵送の場合◆
所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加料振込み済の領収書 (コピー) を添えてお申し込みください。仮ドローは、福岡県テニス協会のホームページ (fukuoka-tennis.com/) にてご確認下さい。
 - ◆E-Mail の場合◆
所定の申込み用紙 に必要事項を入力の上、下記アドレスへ送信 (件名に「春季チャレンジ Jr」と入力) してください。送受信によるトラブル防止の為、申込受信確認後、返信いたしますので、申込の翌日 (除土日祝) までに、協会より返信がない場合は、ご連絡ください。仮ドローは、福岡県テニス協会のホームページ (fukuoka-tennis.com/) にてご確認下さい。
申 込 先：〒810-0022 福岡市中央区薬院 2-14-26 東洋薬院ビル 5F
福岡県テニス協会「チャレンジ Jr」係
E-Mail：gsyu-tennis@isis.ocn.ne.jp TEL:092-722-1605
参加料振込先：郵便局 振込取扱票 口座番号 01780-1-94235
加入者名 福岡県テニス協会

※通信欄に必ず大会名・参加者氏名を記入して下さい。

12. ドロー会議 平成30年 5月15日(火) 予定

13. 個人情報 本大会申込に記載された個人情報については、年齢基準の確認及び大会に係わる
保護につ 諸連絡に使用するとともに、氏名、年齢、所属については本大会プログラムに掲載
いて することがあります。また、氏名、生年月日、所属については日本テニス協会及び
都道府県テニス協会間の大会資料として使用致します。更に氏名、所属については、
大会記録として本会議に情報誌や記念誌等へ掲載させていただくこともあります。
尚、その他の個人情報につきましては、本人の同意を得る事なく第三者に提供いた
しません。

大会記録(戦績、報告、講評)及び大会期間中に主催者が撮影した動画及び静止画
についてはその権利は全て主催者に帰属するものとします。

14. その他
- (1) 天候等やむをえない事情により、試合方法を変更する場合があります。
 - (2) 大会期間中における負傷、事故等については応急処置をとりますが、他につい
ては主催者加入傷害保険の範囲内とします。
 - (3) 申し込み締切後の欠場は、欠場しても参加料をお支払下さい。
 - (4) 本大会は全てセルフジャッジで行われます。ルールを熟知の上申し込み下さい。

セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」(相手に有利に)!
- ② 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき!
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス!
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに!
- ⑤ コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない!

ディレクター 吉田 達正

レフェリー 那須 健児